

祝 辞

本日、ここ海上自衛隊 第1術科学校 大講堂において、第百三十六期幹部予定者課程卒業式が厳粛に挙行されるに当たり、地元、江田島市民を代表して、お祝いの御挨拶を申し上げます。

幹部予定者課程を卒業される皆様、並びに御家族の皆様、本日は、誠におめでとうございます。また、西山学校長を始めとする、学校関係者の皆様におかれましては、成長された自衛官が立派に巣立つ姿に、感慨もひとしおのことと、思います。

今、こうして皆様の、規律正しく、凜とした姿を拝見いたしますと、ここ江田島で過ごされた日々が、厳しさの中にも達成感と充実感に満ちたものであったことと拝察いたします。

我が国の安全保障環境が厳しさを増し、自衛隊の皆様への国民の期待が高まっていく中、皆様におかれましては、海軍兵学校の伝統を引き継ぐ幹部候補生学校で学ばれた経験を生かし、「心・技・体」を備えた指揮官として、それぞれの分野で御活躍いただき、国民の負託に応えていただきたいと強く願っております。

さて、皆様、御存知のとおり、ここ江田島市は、今から百三十七年前、明治二十一年、海軍兵学校が東京築地から移転し、その後、昭和三十一年に海上自衛隊をお迎えし、これまで六十九年間にわたって、共存共栄の関係を築き、皆様との縁や絆を大切に育んできた地でございます。

これまで、江田島市では、海上自衛隊の御協力と御支援を受け、オータムフェスタや江田島湾海上花火大会を始めとするイベントを通して、自衛官と市民との交流の場を提供いただいております。

こうした事業を、自衛隊の皆様と共に築き、開催できますこと、心より感謝申し上げますとともに、今後も、自衛隊との絆を紡ぎながら、相互の更なる発展に尽力してまいります。

卒業される皆様方におかれましては、この江田島の地を、これからも見守っていただけますと大変嬉しく思います。また、「心のふるさと」として、折にふれ、御家族や同期の仲間と訪れていただければ、市民一同、心から歓迎申し上げます。

いつの日か再び皆様とお会いできる日を、楽しみにしております。

結びになります。日本国の繁栄、海上自衛隊の益々の御隆盛、御発展、そして本日御参会の全ての皆様の御健勝と更なる御活躍を、心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和七年七月一日

江田島市長 土 手 三 生